

議 事 概 要

| | |
|-----------|---|
| 協議会名称 | 伊勢市地域包括ケア推進協議会(第4回) |
| 開催日時 | 令和4年3月22日(火) 13:30~15:00 |
| 開催場所 | 伊勢市役所 本館3階 委員会室 |
| 出席した委員 | 萩吉康、徳田敦、村瀬広和、前村裕司、斎藤茂、本村鏡一、中村龍平、杉山謙三、森川和俊、前島賢、脇海道友美、西出裕一、二ノ宮尚美、黒精美行、水島徹、岡本忠佳、北村鈴代、赤坂知之 計18名 |
| 欠席した委員 | 小林裕典 計1名 |
| 出席した事務局職員 | 江原(健康福祉部長)、大井戸(健康福祉部次長)、浦井(介護保険課長)、藤川(主幹兼介護認定係長)、山本(介護保険料係長)、竹原(介護監査係長)、中村(介護給付係長)、浦田(健康課長)、高村(健康課副参事)、杉浦(主幹兼健康づくり係長)、奥野(高齢・障がい福祉課長)、小林(福祉生活相談センター長)、田代(総合相談係長)、中村(共生事業係長)、服部(地域福祉係長)、世古口(医療保険課長) ※計16名 |
| 傍聴者 | 4名 |
| 議題及び協議概要 | <p>1 地域密着型サービス事業所等の指定について「資料1、資料1-1」</p> <p>○地域密着型サービス事業所等の指定について、事務局から資料に沿って説明</p> <p>委員「審議するのなら、新規の開設の基準に合っているかはどう確認するのか。」</p> <p>事務局「指定基準に照らし合わせて、保険者で確認をしている。」</p> <p>委員「月間の稼働日はどうなっているのか。フル稼働したときにシフトが組めるのか心配である。また、生活支援員や機能訓練指導員などの有資格者はどういった人か。」</p> <p>事務局「療養通所介護の生活支援員は資格は問わない。機能訓練指導員は理学療法士と作業療法士である。」</p> <p>委員「設備基準について、療養通所介護は地域の医療機関、病院若しくは診療所と連携体制が求められているがどうか。」</p> <p>事務局「これについては、連携に努めなければならないとなっており、指定時に報告する義務がないため確認していない。」</p> |

委員「審議するのは利用者にとって有益かどうかである。審議するなら資料に説明書きが欲しいし、建物のレイアウトを付けてもらいたい。」

事務局「事項には審査をお願いするとなっているが、指定基準を満たしているかは市で確認した上で、地域密着型サービスの地域との連携などについてご意見をいただく場と考えている。その観点でご意見を賜りたい。今後、委員の皆様は何を求めなのか、事務局からの説明の仕方を整理させていただく。」

委員「基準や提出書類を示した上で、市で審査して合っていますが、何かご意見ありますかという聞き方をすべきではないか。」

委員「地域密着型サービスの通所介護を作る上で一番の問題は何か。」

事務局「地域の方々のご意見をいただき、地域にいる、家にいる感じで過ごしてもらえるのが一番だと考えている。」

委員「設置場所については、利用しやすいことが一番大事である。そういうことを含めて意見を求めると良いのではないか。」

委員「地域密着型であれば、自治会や民生委員に意見を聞いて、その結果をこの会議で披露して審査基準に入れてもらうのも良いのではないか。」

委員「そうしてほしいところであるが、地域で反対されることがある。地元の理解を得ることが難しい場所もあるという認識をしてもらいたい。」

委員「この事業所は、障がいのある児童も通えるのか。」

事務局「対象となっている。」

委員「そうであれば価値ある事業所だと思う。」

委員「今後は、保険者で審査した内容を示してもらえるとよい。」

→了承

2 ケアマネジメント支援分科会開催報告について「資料2、資料2-1」

○ケアマネジメント支援分科会開催報告について、事務局から資料に沿って説明

委員「分科会の参加委員に状況を伺いたい。」

委員「分科会では、2例とも多くのサービスを入れようとしたものではなく、継続的に基準の回数を超えるものではないと判断した。各専門委員がそれぞれの立場から意見し、委員も勉強になった。」

委員「厚生労働省が定める回数について、要介護3が43回と多いのはなぜか。」

事務局「特別養護老人ホームの入所が原則要介護3以上となっており、在宅と施設入所の境目となりサービス回数が多くなっているのではないかと考えられる。」

委員「ヤングケアラーについて市はどう考えているのか。」

事務局「ヤングケアラーについては、今年度、社会福祉協議会が民生委員・児童委員、地域包括支援センター、ケアマネジャー、計画相談員に調査し、12人を把握している。今後、市としてどう支援するかを検討していくところである。」

委員「就業構造基本調査を活用した把握はしていないのか。」

事務局「就業構造基本調査の活用はしていないが、来年度以降に県も調査する意向とのことである。市は教育委員会とも連携して実態把握を行っていきたいと考えている。」

→了承

3 その他

○事務局より、下記のとおり報告

- ・令和4年度の会議の開催予定について

令和4年度は4回の開催を予定している。

主な内容は、事業計画の令和3年度分の進捗状況の報告及び次期事業計画策定のための高齢者を対象としたアンケート調査の内容等について協議会にはかかっていく予定である。

次回の開催は6月13日を予定している。

- ・地域包括支援センターについて

委託期間が令和4年度末までのため、令和4年度は次期委託期間である令和5年度から令和7年度の委託先の選定を行う分科会を設置し、プロポーザル等を行いたい。地域包括支援センターは、引き続き6ヶ所の設置を考えている。